

2022年8月10日

各 位

会 社 名 MUTOH ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 磯邊 泰彦  
(コード番号 7999 東証スタンダード)  
問合せ先 経営管理部長 福富 弘悦  
(TEL. 03-6758-7100)

## 中期経営計画（2022～2024年度）の策定に関するお知らせ

当社は、新たに2022年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

### 記

#### 1. 基本方針

- (1) 目指す姿：持続的な増収を基調とした安定収益基盤の確立
- (2) 経営目標：2024年度目標売上高170億円、営業利益率5.0%
- (3) 財務目標：ROA3.3%

#### 2. 各事業セグメントにおける重点取組み

- (1) 情報画像関連機器事業
  - ・北米・欧州・日本の3極が中軸となって増収増益を牽引し、全社の持続的成長を目指します。
  - ・大判インクジェットプリンタ、3Dプリンタともに独自の技術・特徴を活かした用途・特定市場でのプレゼンス確立とソフトウェア・サービスでの付加価値提供による差別化・ビジネスモデル革新を進めます。
  - ・収益性確保を伴う持続的成長に向け、純正サプライの継続収益に繋がる日米欧市場に軸足を移していきます。
- (2) 設計計測機器事業
  - ・強固な顧客基盤・販路を維持し、寡占化を図り、安定収益を継続確保していきます。
- (3) 情報サービス事業
  - ・モノづくり事業をソフト開発力面から支える情報サービス事業はソリューション拡充による顧客基盤を維持し安定収益源として見込みます。
- (4) 不動産賃貸事業その他
  - ・中期経営環境を睨んだ安定収益源の確保に向けて再構築を図ります。

#### 3. 脱炭素社会における当社グループの将来像と目標

- (1) 目指す姿：脱炭素社会の実現に向けて、業界・地域における牽引役としてのCIと評価の確立
- (2) 目標：2030年：GHGプロトコル（※）区分のScope1とScope2合計でCO2排出ネットゼロ  
(※国際的な温室効果ガス排出量の算定及び報告基準)

#### 4. 環境・社会のサステナビリティ向上への取組み

ハザードフリー、バリアフリー、リサイクル、省資源など多様な視点で環境・社会対応に取組み、サステナビリティ向上と競争力強化の両立を目指します。

#### 5. コーポレートガバナンスの強化

ガバナンス体制の強化、資本コストを意識した経営により、経営の健全性、透明性、効率性を高めていきます。

#### 6. 財務体質の強化

資金効率、資産効率の改善を図り、財務体質の更なる強化を図ります。

(1) 資金効率の改善、キャッシュ化サイクル (CCC) の短縮、2024年度目標100日

(2) 資産効率の改善、2024年度目標ROA3.3%

(注) 本資料に記載されている事業予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

# MUTOHグループ 中期経営計画 《 FY2022～FY2024 》

2022年8月10日

MUTOHホールディングス株式会社

# ▶ MUTOHグループの事業内容

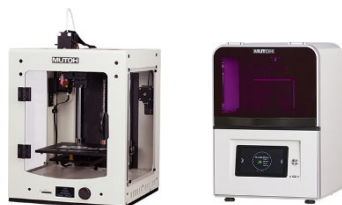
◆ 祖業である設計製図機器より始まった、人と企業の創造力を高める製品やサービスを提供する各事業

## 情報画像関連機器

### 大判インクジェットプリンタ



### 3Dプリンタ

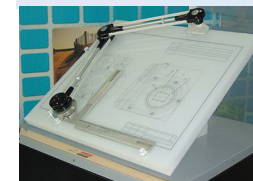


## 設機計測機器

### 設計機材



日本機械学会「機械遺産」機械遺産 第21号  
**万能製図機械MUTOH**  
 『ドラフターMH-I』



### 計測機器



### LED照明



## 情報サービス

### ソフトウェアエンジニアリング



### CAD

**M Draf Suite**  
**M Draf Spirit**  
**M Draf Lite**

## 不動産賃貸その他

### 不動産賃貸

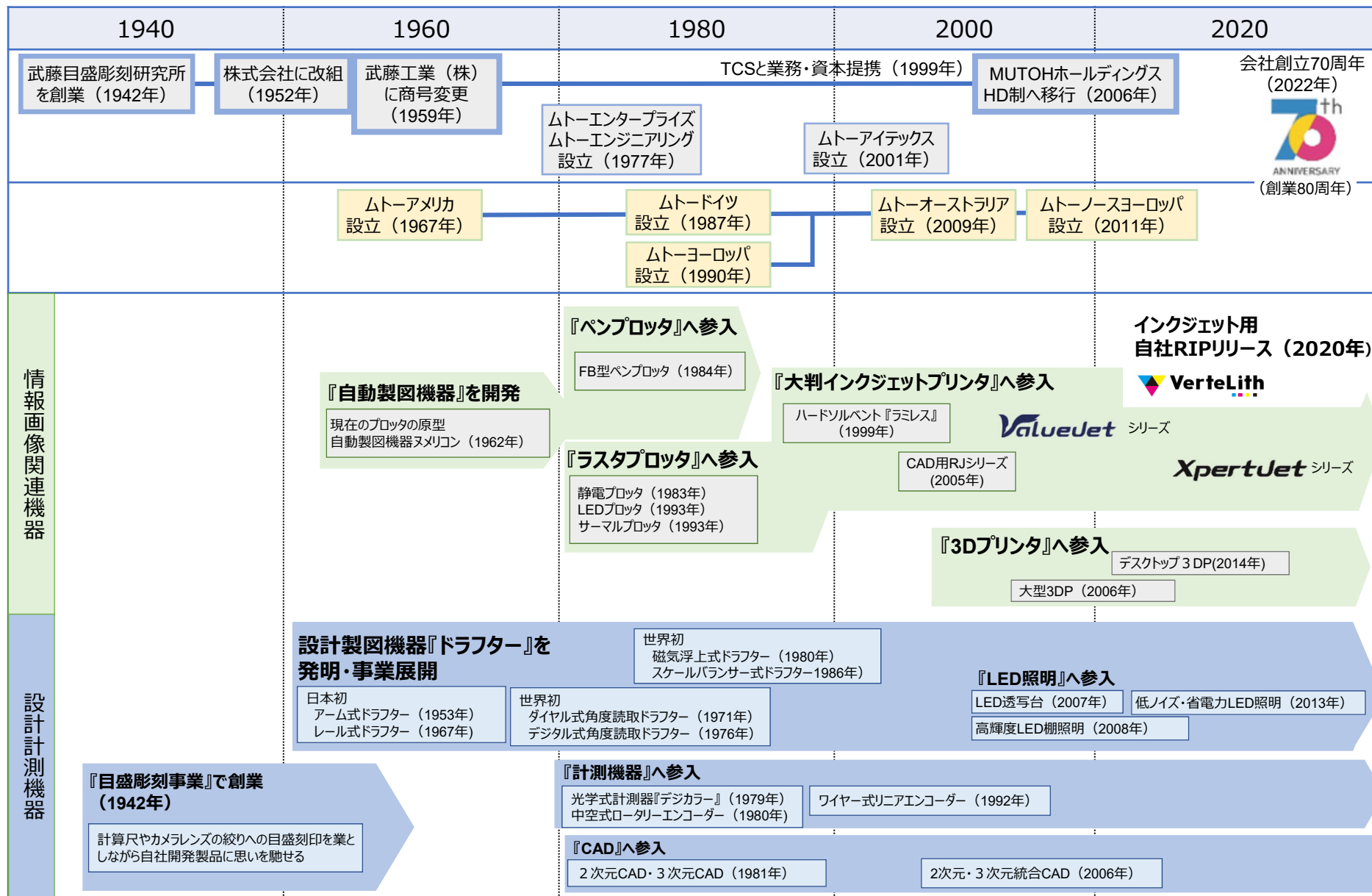


### 輸入販売 (スポーツ&ライフ)



# ➤ MUTOHグループの展開

1942年創業、1952年会社創立。1953年ドラフター以降、様々なMUTOHブランド製品を展開、2022年に創業80周年・会社創立70周年



### 経営理念

MUTOHグループは、国内外の法令、社会倫理を遵守し、良識ある企業活動を心がけ、グループ事業の価値の向上とMUTOHブランドの恒久的維持・拡大、更には社会の健全な発展に努めます。

### 基本方針

#### 常に革新し

MUTOHグループは、目まぐるしい市場環境の変化に迅速に対応し、MUTOHブランドの価値の向上および拡大のために、常に革新します。

#### 挑戦を続け

MUTOHグループは、グループ各社がそれぞれの得意分野の事業に注力し、事業価値向上とグループ会社間のシナジー効果の極大化を目指し、新しい事に挑戦し続けます。

#### 社会に貢献する

MUTOHグループは、適正な企業活動を通じて社会に貢献するとともに、企業市民として積極的に社会貢献活動に参加し、社会の発展に寄与します。

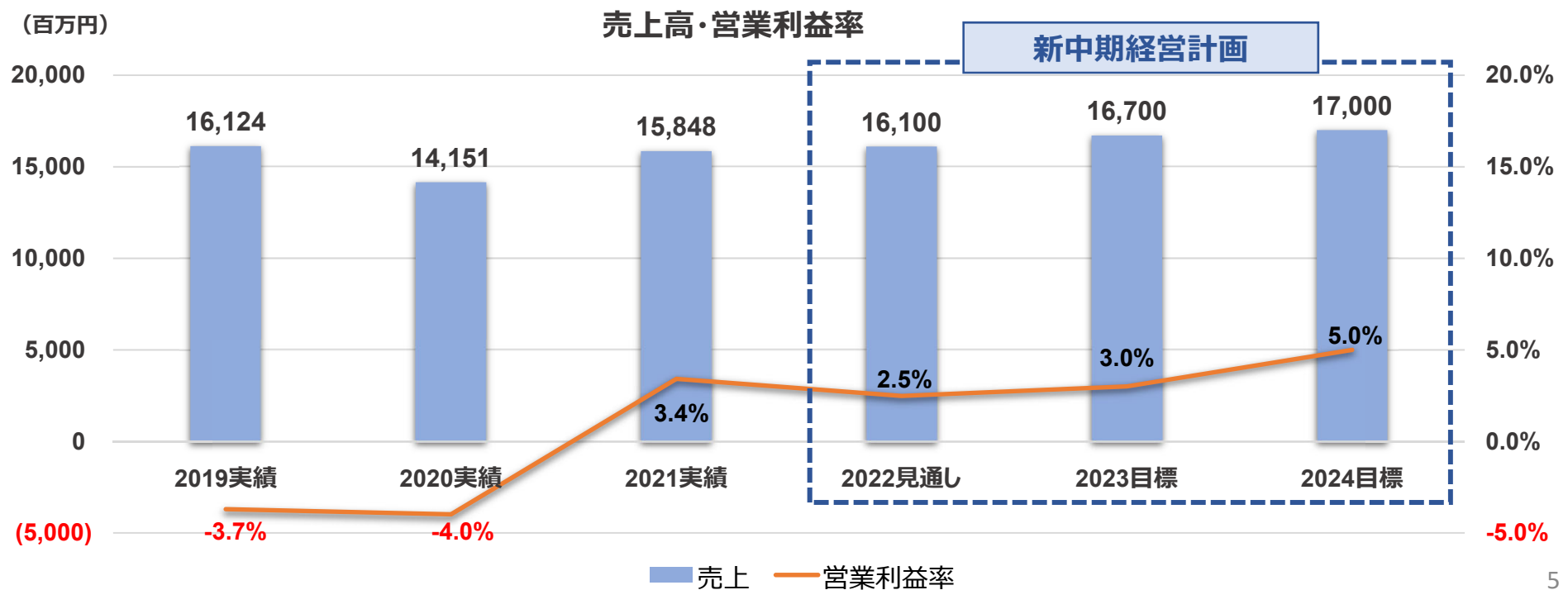
## 直近の業績推移と新中期で目指す姿・目標

### 【直近3カ年：2019～21年度】

- ◆ 2019～20年度：コロナ禍により減収傾向の中、2年連続赤字を計上
- ◆ 2021年度：経営体質改善、新製品拡大等により増収増益・黒字転換

### 【新中期経営計画：2022年度～2024年度】

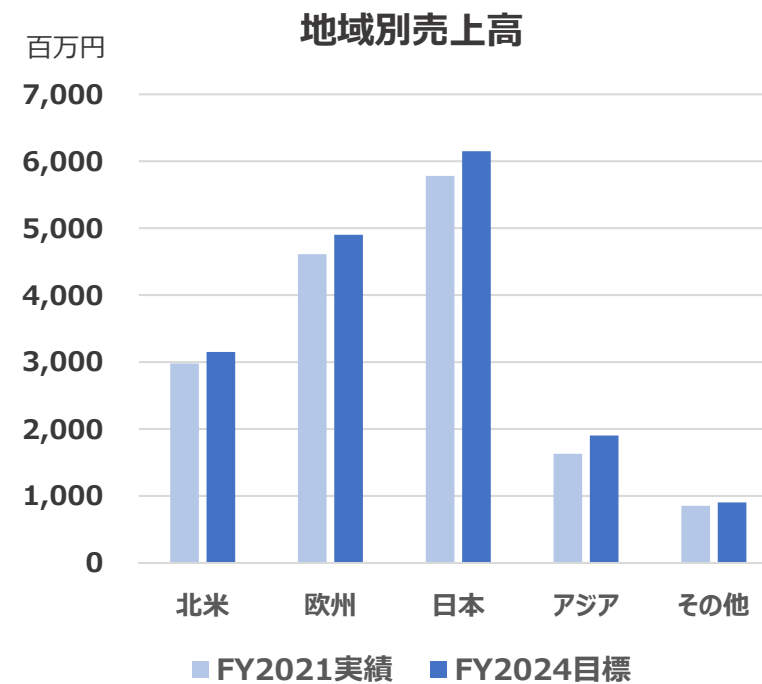
- ◆ 目指す姿：持続的な増収を基調とした安定収益基盤の確立
- ◆ 2024年度目標：売上 170億円、営業利益率 5.0%



## ▶▶ 新中期・地域別売上高

◆ 北米・欧州・日本の3極が中軸となって増収基調を牽引、全社の持続的成長を目指す

(百万円)	FY2021実績	FY2024目標
<b>売上高</b>	<b>15,848</b>	<b>17,000</b>
北米	2,977	3,150
欧州	4,610	4,900
日本	5,780	6,150
アジア	1,629	1,900
その他	852	900





## ➤ 事業の持続的成長と安定収益確保

- ◆ 国内で寡占的地位を保持する設計計測機器事業を安定収益基盤として維持しつつグループ中核の情報画像関連機器事業の持続的成長・収益性確保に向けた構造革新を進める
- ◆ モノづくり事業をソフト開発方面から支える情報サービス事業は安定的な収益を見込むも中期経営環境を睨んだ更なる安定収益源の確保に向けて不動産賃貸その他事業の再構築を図る

(百万円)	FY2021実績	FY2024目標	中期ビジョンにおける各事業 の位置づけ・重点取組み
売上高	15,848	17,000	
情報画像関連 機器事業	11,894	12,800	持続的成長・収益性確保に向けた構造革新 ⇒ 用途開拓、ソフト・サービス連携、日米欧中心
設計計測 機器事業	1,294	1,300	寡占的地位、安定収益の保持 ⇒ 教育機関での強固な位置づけ活用
情報サービス事業	2,221	2,300	社内外向け事業の安定継続 ⇒ ソリューション拡充による顧客基盤維持
不動産賃貸 その他事業	436	600	不動産・輸入販売の事業再構築 ⇒ 安定収益源の確保
営業利益	541	850	
営業利益率	3.4%	5.0%	

## 情報画像関連機器事業の戦略

- ◆ 大判IJ（インクジェット）プリンタ、3Dプリンタともに独自の技術・特長を生かした用途・特定市場でのプレゼンス確立とソフトウェア・サービスでの付加価値提供による差別化・ビジネスモデル革新
- ◆ 収益性確保を伴う持続的成長に向け、純正サプライの継続収益に繋がる日米欧市場に軸足

### ・ 独自技術・特長を生かした用途・特定市場でのプレゼンス確立

#### ①低溶剤・大判IJプリンタ

- 新技術・環境対応でサイン市場での競争力の維持・向上

#### ②UV・大判IJプリンタ

- 独自技術・ソフトウェア連携による小物製作・点字印刷

#### ③マルチパーパス・大判IJプリンタ

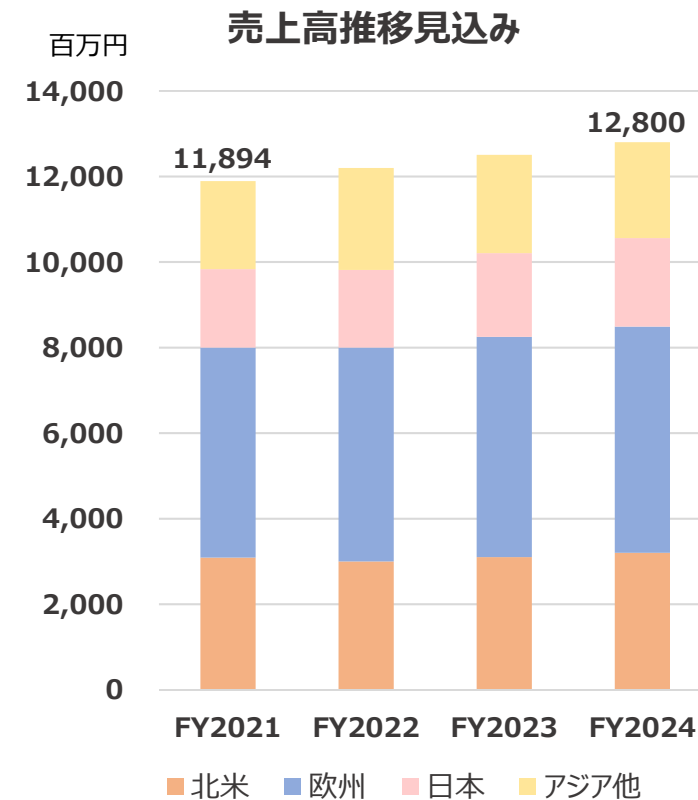
- 多種メディア対応力でモックアップ・プルーフ工程のデジタル化

#### ④3Dプリンタ

- 教育市場向けパッケージソリューション、産業用途の開拓

### ・ ソフトウェア・サービスでの付加価値提供

- 純正RIPソフトウェア『VerteLith』によるワークフロー効率化
- MUTOH Clubによる製品運用・保守サービスの利便性向上

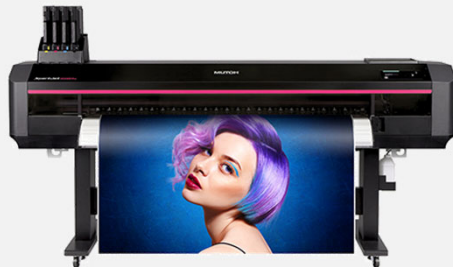


<情報画像関連機器事業>

➤ ①低溶剤大判IJプリンタの取組み

- MUTOH独自新技术を搭載した新機種の市場投入で競争力の維持・向上
  - AccuFineヘッド・i-screen・純正RIP『VerteLith』で低価格・高画質・高生産性プリンタのシリーズ展開
- 環境、人に優しいインクの開発でユーザー環境の改善とともに事業のサステナビリティを確保
  - 米国環境基準「UL GREENGUARD Gold」への対応（MS31/41、US11）と新環境対応インクの開発

【サイン市場向け：低溶剤プリンタ】



三位一体の「先進」技術  
「AccuFine」・「i-screen」・「VerteLith」

新型プリントヘッド

高画質

AccuFINE

i-screen

VerteLith

新プリントエフェクト

純正RIPソフトウェア

米国環境基準  
「UL GREENGUARD Gold」  
認証インク

独自技術・特長

<アプリケーション例>



バナー



屋外広告



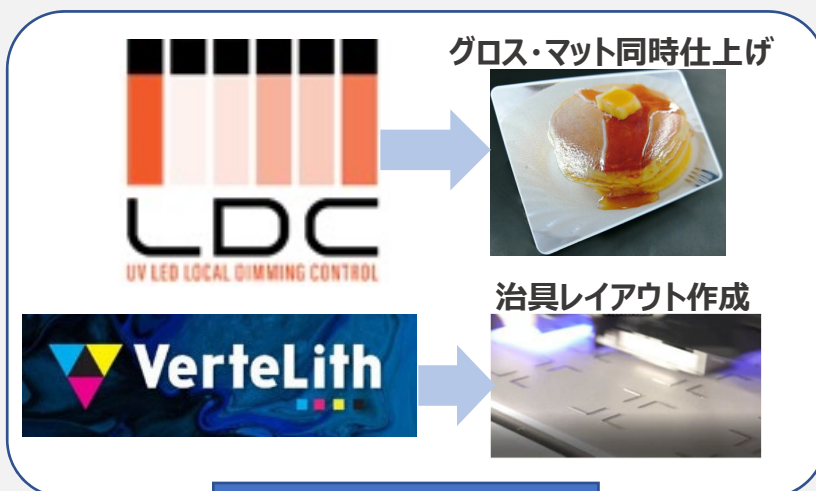
カーラップ

<情報画像関連機器事業>

➤ ②UV大判IJプリンタの取組み

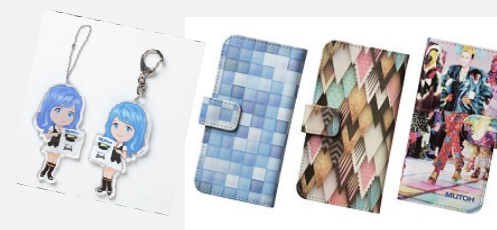
- MUTOH独自の特許技術を搭載したプリンタで競争優位の確保
  - LDC「Local Dimming Control」技術（特許出願中）によるグロス・マット印刷の同時実現
- 純正RIPソフト「VerteLith」による作業効率化と付加価値機能の充実でワークフロー全体の差別化
  - 治具レイアウト作成やバリエブルデータ印刷、点字厚盛印刷などワークフローを効率化する機能が充実

小物製作・点字印刷向け：UVプリンタ

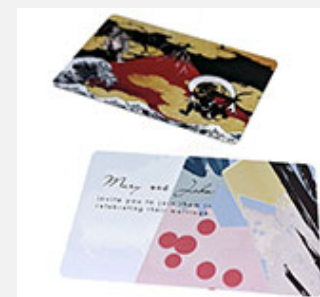


独自技術・特長

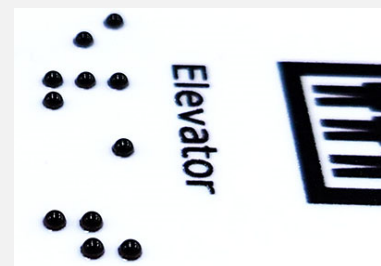
<アプリケーション例>



**オーダーグッズ**  
キーホルダー  
スマホケース  
など



**カード**  
画像に加えて  
名前、番号など  
バリエブルデータ  
の印刷可能



**点字**  
VerteLith  
による  
UVインクの  
厚盛印刷

## ③マルチパーパス大判IJプリンタの取組み

- 様々なメディアに印刷可能なマルチパーパス・インクでモックアップ・プルーフ工程のデジタル化
  - パッケージ・商業印刷におけるモックアップ・プルーフ工程をインクジェットプリンタによるデジタル化で効率化
- オリジナル製品のラベルやパーソナル・カスタム対応など多品種小ロット印刷ニーズへの対応
  - オリジナルやカスタム（記念品・イベントなど）のラベル印刷、様々な素材の質感を生かした製品への直接印刷が可能

### マルチパーパス・プリンタ



紙・フィルム・木材・金属など  
素材を選ばないマルチパーパスインク

multi purpose  
**mp INK**  
31



メディア  
フリー

素材を  
活かした  
質感

加工に  
強い

独自技術・特長

### <アプリケーション例>



パッケージ  
モックアップ・  
プルーフ（色校正）

様々な質感の  
メディア本紙に  
印刷可能



シュリンクラベル

シュリンクフィルム  
への印刷・収縮  
に対応



多品種小ロット

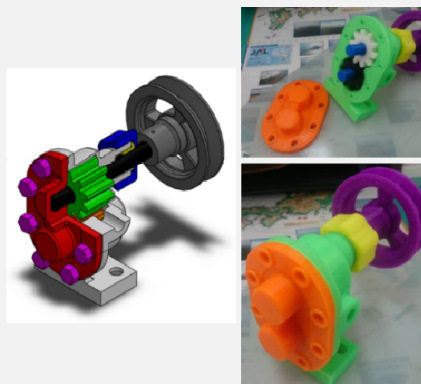
オリジナルラベル、  
パーソナル・カスタム  
製品素材への直  
接印刷



## ➤ ④3Dプリンタの取組み

- MFシリーズ：教育市場へ自社CADソフトと合わせた「MUTOHパッケージ」導入を促進
  - 教育機関向けにCADから3D出力までのマニュアル・サポートパック提供によるトータルサービス
- MLシリーズ：産業用途の拡大、特定市場への参入でシェア拡大
  - 宝飾業界（ジュエリーの台座形成など）、精密機器業界への納入拡大

### 【MFシリーズ：熱溶解積層方式（FDM）】



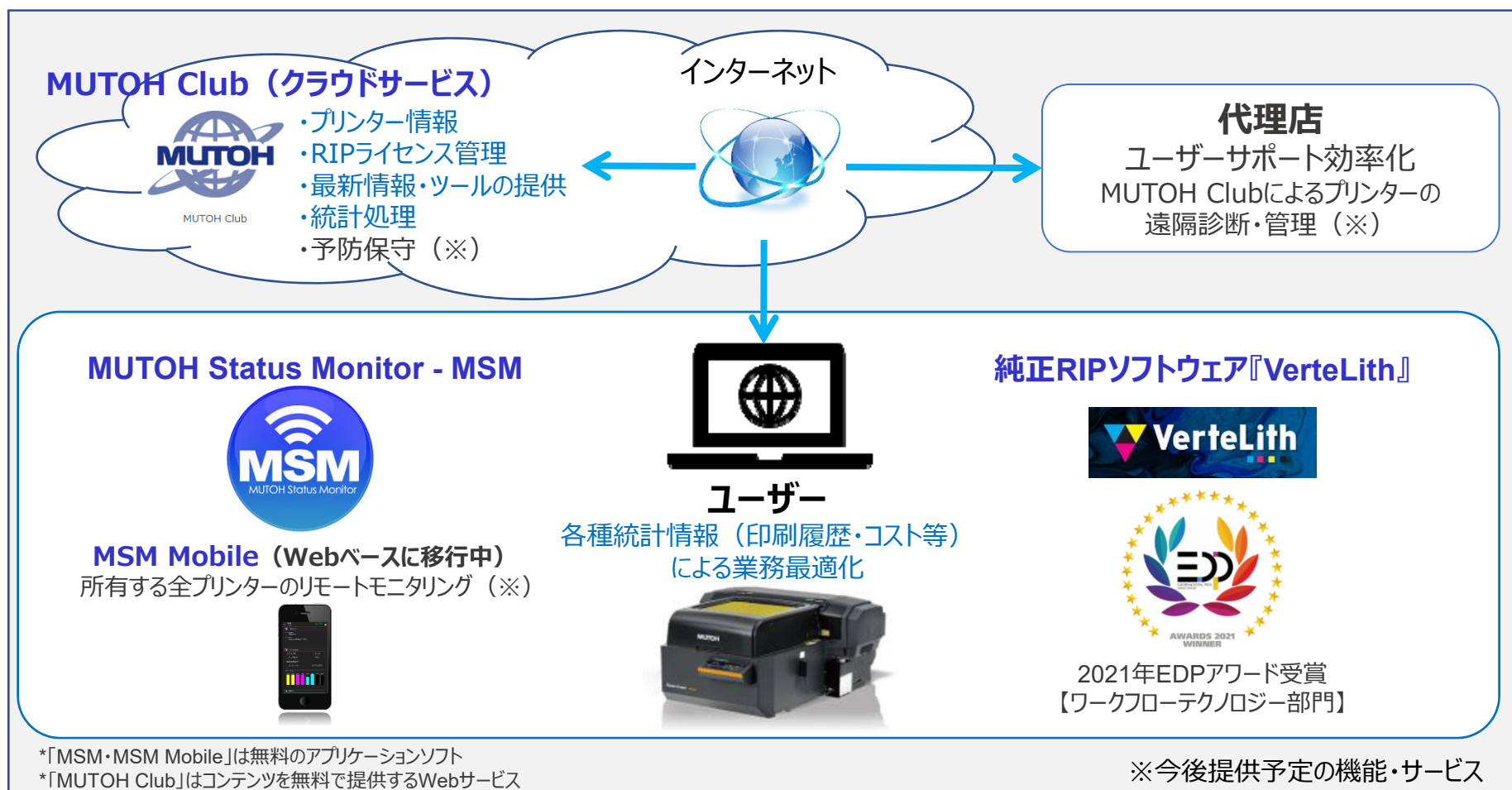
### 【MLシリーズ：光造形方式（DLP）】



## ソフトウェア・サービスでの付加価値提供

◆MUTOH独自ソフトウェア技術によるユーザー/代理店への情報・サービス提供強化で永続的な関係構築

- プリンタの状態・印刷履歴確認用ツール『MSM』（2011年リリース）を業界に先駆けて開発・導入
- 純正RIPソフトウェア『VerteLith』（2020年リリース）で高画質とワークフロー効率化を実現
- Webサイト『MUTOH Club』（2012年公開）を通じマニュアル・プリンタドライバー等の提供
  - 『MSM』、『VerteLith』との連携統合を図り、クラウドサービスへ移行（2022年6月）
  - 今後、予防保守・遠隔診断等の機能・サービスを順次導入・提供し、更なる利便性向上を目指す

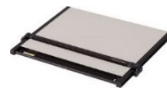


## 設計・計測機器事業の戦略

- ◆ 強固な顧客基盤・販路を維持し、寡占化を図り、安定収益を継続確保

### 【設計機材】

- ・ドラフターでの独占的地位の維持
  - 教育機関に圧倒的な納入実績  
工業高校・高専・大学：1,000校以上
- ・平行定規No.1シェアの維持・拡大
  - 現状シェア：50%  
⇒ 2024年度目標：70%



### 【計測機器】

- ・半導体・医療装置用途のセールス強化で販売維持  
＜リニア・ロータリーエンコーダ、デジタルカウンタ＞

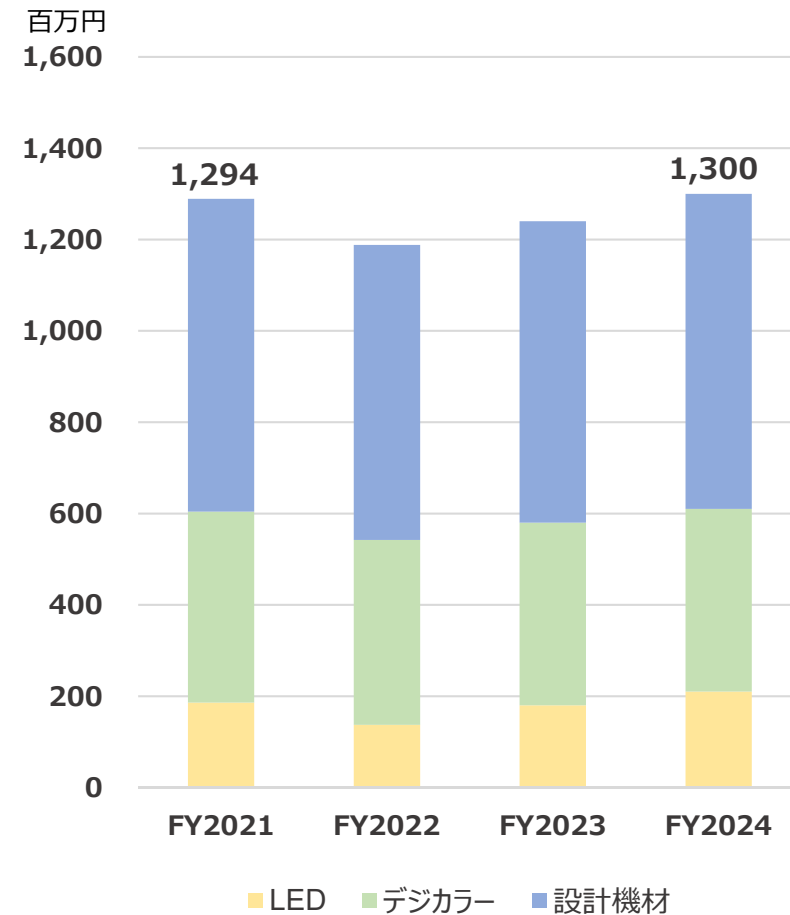


### 【LED照明】

- ・大口顧客の更新需要の安定確保、新規顧客の開拓  
＜通信機械室・サーバールーム向け低ノイズLED照明器具＞



売上高推移見込み





# 情報サービス事業の戦略

◆ ソフトウェアエンジニアリングサービスとパッケージソリューションで社内外の顧客基盤を継続サポート

## 【ソフトウェアエンジニアリング】

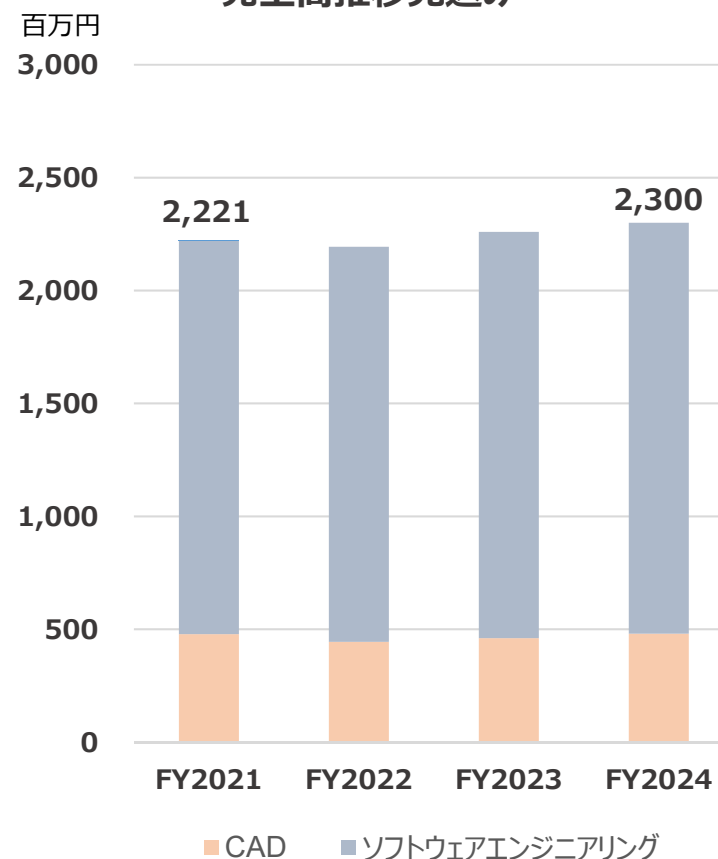
- モノづくり現場支援ノウハウを活かしたシステム提案とソフトウェアの提供
  - 製品システム開発
  - アプリケーション系/システムインテグレーション
  - 組込み・制御系/情報通信系システムインテグレーション
  - CADソリューション

## 【CAD】

- サブスクリプション導入とソリューション販売
- 教育機関のデジタル化推進支援
  - CAD・3DPパッケージ提供



売上高推移見込み



## ▶ 不動産賃貸その他の事業再構築

◆不動産賃貸・輸入販売の再構築による、安定収益源の確保

### 【不動産賃貸】

- 資金の有効活用による資産投資
- 福祉施設や地域開発への貢献

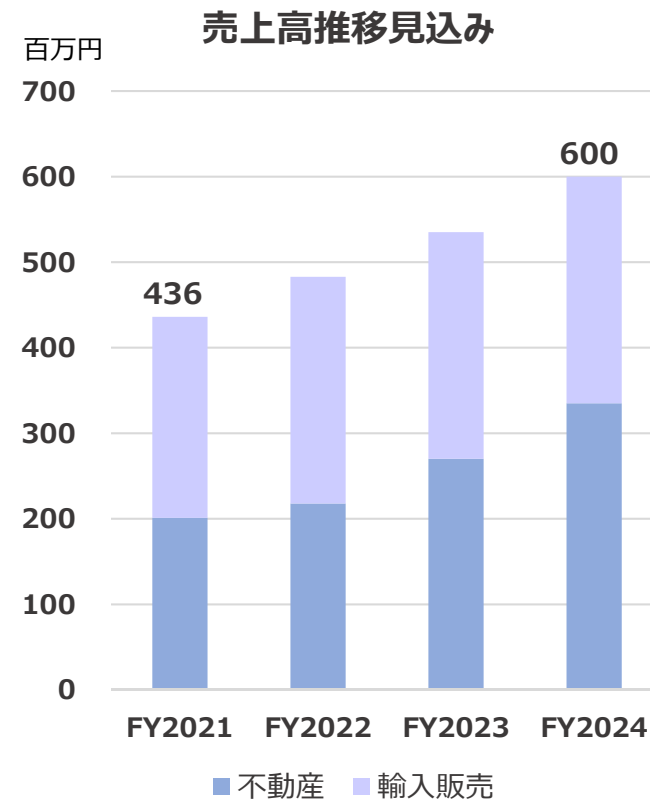


### 【輸入販売：スポーツ&ライフ】

- アウトドア・健康志向の高まりへの対応
- Finoaブランドの育成・浸透



Finoa



## 脱炭素への中長期取組みの方針・目標・計画

### ◆ 脱炭素社会における自社の将来像と目標

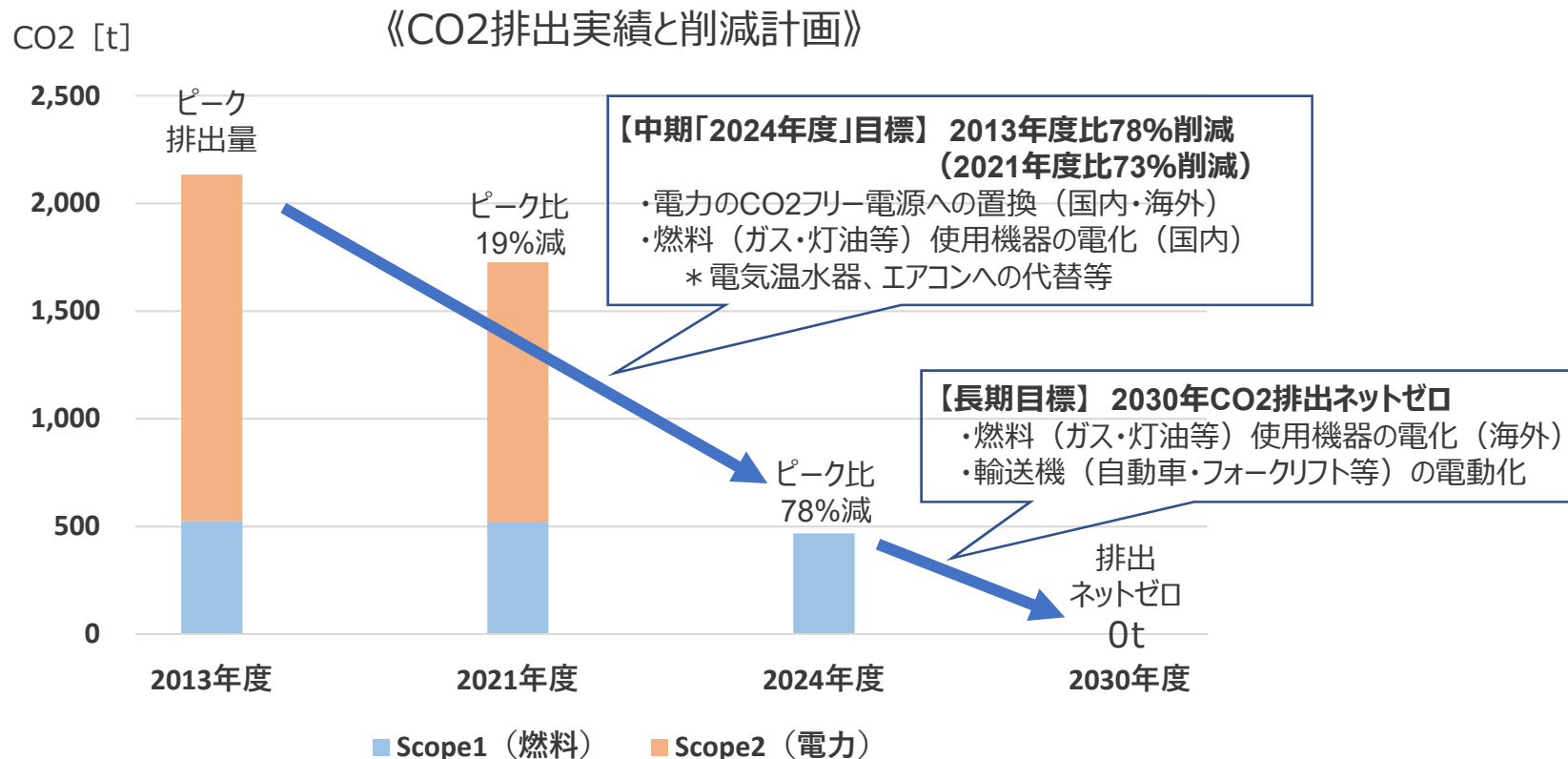
【目指す姿】 脱炭素社会の実現に向けて、業界・地域における牽引役としてのCIと評価を確立

【目標】 2030年：GHGプロトコル（※）区分のScope1（燃料消費などの直接排出）とScope2（電力使用などの間接排出）の合計でCO2排出ネットゼロ

（※国際的な温室効果ガス排出の算定・報告基準）

### ◆ CO2排出の現状と中期削減計画と取組み

- ・CO2排出量の現状：2021年度はピークの2013年度比19%減
- ・中期「2024年度」CO2排出計画：ピークの2013年度比78%減（2021年度比73%減）
  - 主要取組み：電力のCO2フリー電源への置換（国内・海外）、燃料使用機器の電化（国内）



## 環境・社会のサステナビリティ向上への取組み

◆ 様々な視点での環境・社会対応に取組み、サステナビリティ向上と競争力強化の両立を目指す

### ハザードフリー

#### 溶剤インク/プリンタ

人体や環境にやさしい  
低溶剤インクの開発

2022年秋発売予定の  
新低溶剤インク



危険有害性を示す  
ハザードマークが無い



3 すべての人に  
健康と福祉を



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

### バリアフリー

#### UVインク/プリンタ

多様性に配慮する  
点字印刷を実現



Elevator



3 すべての人に  
健康と福祉を



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



11 住み続けられる  
まちづくりを

### リサイクル

#### マルチパーパス・ インク/プリンタ

完全リサイクルできる  
スチレンボードに対応



9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



14 海の豊かさを  
守ろう



17 パートナシップで  
目標を達成しよう

### 省資源

#### 製造工程での 3Dプリンタ活用

様々な部品・治具を  
必要数だけ自社生産



11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任

\*Recoボードの登録商標（登録4923035）株式会社アクタ

## ➤ コーポレートガバナンスの強化

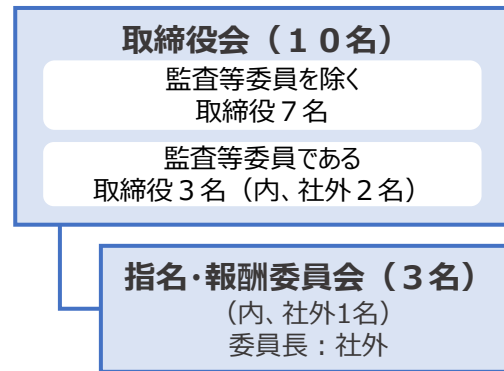
◆ ガバナンス体制の強化、資本コストを意識した経営により、経営の健全性、透明性、効率性を高める

### 1) ガバナンス体制の強化

#### ① 取締役会のガバナンス拡充

- ・社外取締役 1 / 3 (2022年度～)
- ・指名・報酬委員会 (2020年度設置、2022年2月から委員長は社外取締役)

【現状の体制】



【2022年7月～】

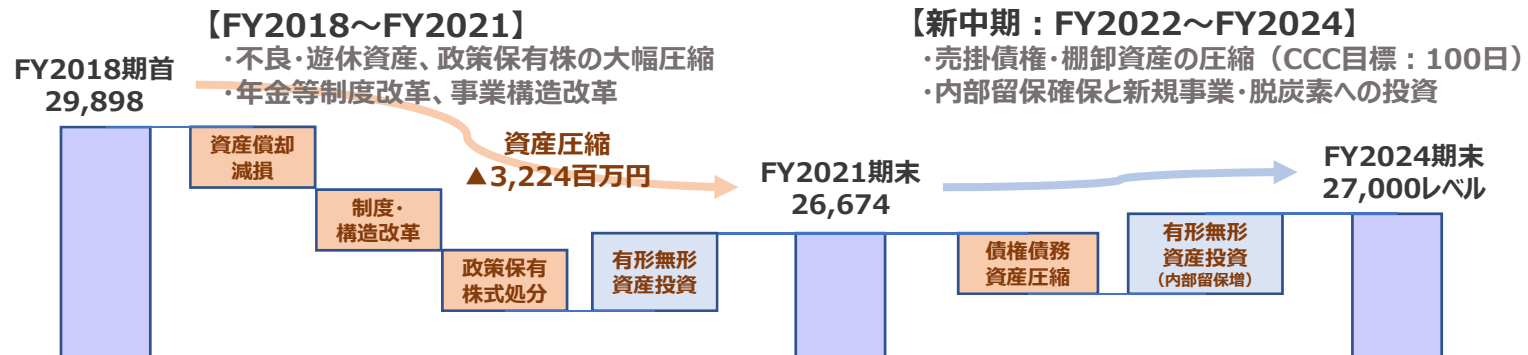


#### ② リスクホットライン (社外窓口) の増強 (2022年度～)

#### ③ 内部監査室の機能を拡充し、J-Sox + 実査指導を強化 (2022年度～)

### 2) 資本コストを意識した経営

ROA改善に向けた総資産の良化・適正化の継続推進



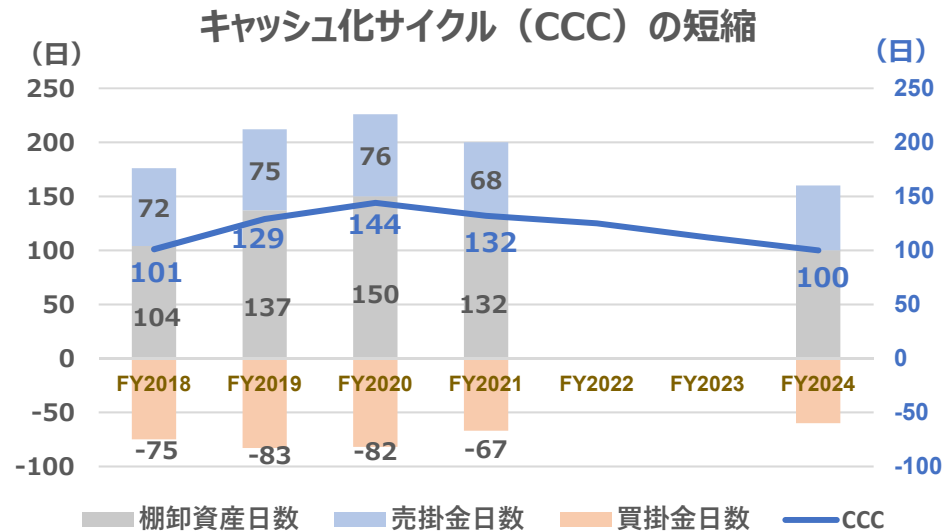
# 財務体質の強化

◆ 資金効率・資産効率の改善を図り、財務体質の更なる強化を図る

## 1) 資金効率の改善

【中期目標】  
キャッシュ化サイクルの大幅短縮  
CCC : 100日 (FY2024)

- ① 棚卸資産の圧縮
  - ・ 2週間モノづくりへの挑戦
  - ・ 販売会社の在庫適正化
- ② 売掛債権の圧縮
  - ・ 上位取引先（構成比70%）の条件の見直し・集約
- ③ 売掛金・買掛金のバランス化



## 2) 資産効率の改善

【中期目標】  
ROA : 3.3% (FY2024)

- ① 総資産の圧縮・回転率良化
  - ・ 遊休・不良資産の整理
  - ・ 政策保有株式の見直し
- ② 資金の有効活用
  - ・ 新規事業投資、優良資産運用
- ③ FCFの改善

